

TOPIC トピックス・撮 TOPIC TOPIC

vol.1

今月号から、区内の出来事や季節に合わせた情報、人物紹介など、さまざまな話題を幅広く紹介するコーナー「トピックス・北区」を始めます。一回目は、「広報さっぽろ北区民のページ」のとびらに二度、写真を掲載させていただいた山崎久子さんにインタビューを行いました。風景写真の撮影を趣味としている山崎さん。北区の風景に魅せられる理由や写真を通して多くの人に伝えたいことなどを語っていただきました。

「写真」のことも頭がいっぱいなんです。

家の中では、ベランダから眺める夕焼け空をパチリ。散歩に出掛けては、道端に咲く、小さな花をパチ



やまざき・ひさこさん 北区在住。

広報さっぽろ平成17(2005)年6月号と平成18(2006)年7月号の「北区民のページ」のとびらに、山崎さんの応募作品を掲載させていただきました。

1年間に36枚撮りのフィルムで40本程度撮影するという山崎さん。特に北海道大学構内や茨戸川などを中心に、季節を感じさせる写真を趣味で撮り続けます。「とにかく写真が大好き。私の健康、元気の秘訣です」と笑顔で答えてくれました。

北区の四季を楽しむ 山崎久子さん



春の訪れを告げる1枚(茨戸川周辺にて。平成18(2006)年4月下旬、山崎さん撮影)

りという具合。ふとした瞬間、カメラのファインダーをのぞき、シャッターボタンを押す。現像してみても『こんなふう撮れてたんだ』とか『ちょっとイメージと違った』なんてこともたくさんあります。でも、それがとても楽しくって」

カメラを手にしてから六年。初孫が生まれた時に、かわいい写真をたくさん撮ろうと始めたことがきっかけといえます。お孫さんが大きくなるにつれ、いつの間にか被写体は風景へと移りました。

「私は、よく北海道大学構内や屯田防風林、茨戸川周辺などに出掛けて撮影しています。カメラを持つようになったから、北区は少し足を延ばすだけで、水と緑に恵まれ、自然に触れることができる素晴らしい環境だな、とあらためて実感するようになりました。今まで特に趣味などは

持っていなかったもので、自然を楽しむような経験は多くはなかったんです。今ではもう雪解けが待ち遠しくて。去年思い通りに撮れなかった景色と同じ場所に行って、今年はこのようにアングルで撮ろう、

こうした瞬間を撮りたいな、などと想像を巡らすことも楽しみの一つです」

撮影には一人で出掛けるという山崎さん。自由気ままにのんびりと散策し、気に入った風景を写真に収めると、気持ちが入るとしてストレス解消になるといいます。

「最近、茨戸川の表面に張った薄い氷が割れる瞬間を撮影したんですよ。まるでガラス細工のような景色で、とても興奮しました。私たちの周りには、どんな小さなところに

も季節があります。そうした季節感を写真で伝えることができればうれしいですね。これからも自然の恵みを感じながら、北区の美しい風景を撮り続けたいと思います」

北区では、区民のページのとびらを飾る写真を募集しています。テーマは『北区・こころに残る風景』。あなたの中に残る北区の一枚をお待ちしております。応募方法の詳細は、北区役所広聴係 ☎(757) 2400内線24まで